

母校・同窓会短信

** 第 2 号 **

平成21年 8月29日
歌敷山中学校同窓会事務局
E-mail: utachuu_dou@yahoo.co.jp
TEL. 078-707-8864

「母校・同窓会短信」では、歌敷山中学校卒業生の皆様に、母校と同窓会の現状や最近の話題、想い出話などをお届けします。今回は第2号です。なお、第1号の内容は歌敷山中学校同窓会ホームページ(下記)のContents欄に掲載しております。

I. 母校関連

①挿絵(カット)の達人 岡本壽美雄校長先生にインタビュー

校内のみならず、校外のバス停でも目にするほのぼのと温かいカット、これが岡本校長先生の作品であることを知って驚き、このたびこのようなカットを描かれるに至った経緯を中心にお話を伺いました：

ご出身は山口市最南端の佐山で、高校・大学時代SLによる毎日4時間の通学を経験された後、昭和47年4月に神戸市教員として神戸に赴任されました。その後の教員経験は母校が10校目となるベテランです。

校長先生の“絵”との関わりは、大学時代「詩」や「童話」に挑戦され、挿絵を自ら描かれたことがきっかけだったそうで、現在のキャラクターもその頃ほぼ出来上がった、とのこと。

委員会誌や書籍の挿絵、Tシャツデザイン等いろいろな分野で校長先生のカットが活躍しています。そのうち、2例のみを掲載させて頂きました。上の図はTシャツデザイン、下の図の「大木 根は強く 深く」は今年度の生徒会テーマとのことです。

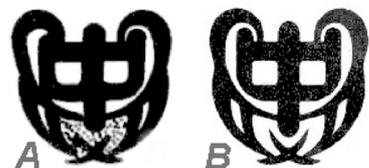
校長先生は学生時代から一貫して“美々敢太郎”というペンネームを使っておられますが、“美々”は誕生日が3月3日なので“ミミ”、それに“壽美雄”の“美”の字をあてた、とのこと。また、“敢太郎”には、どんなに辛い時でも、“敢えて太く朗らかにいたい”との思いが込められているそうです。

「絵を続けていて良かった、と感じられることは」との問いに対しては、「自分の学習プリントに自分のイメージでカットを入れられること、担任をしたクラス生徒たちや、部活動の生徒たちそれぞれに誕生カードをプレゼントできたこと等々」との答が返って来ました。歌敷山中学校に対しては、「生徒たちはとてもすなおで、素敵だと思っています。地域も落ち着いたいい地域です」とのことばを頂きました。

<スペースの関係もあり、内容をだいたい端折りました。詳細内容、およびカラー画像は同窓会ホームページをご覧ください>

②校章の“なぜ？”

昭和30年代の母校の校章(徽章)は右図のAのようであった、と記憶しています。波と松葉のデザイン以外に、これらに囲まれた部分に“点々”があり、これは“浜の砂”を表すのだ、と教わったものです。しかしながら、最近の校章にはこの点々が見当たりません(図のB)。砂浜が少なくなったからなのか、Bのデザインの方がすっきりしているからなのか…、デザインが変わった背景や経緯をご存じの方、お教え頂けると幸いです。



③部活動

夏の顕著な大会記録の紹介です。水泳部は神戸市総体において男子総合2位、女子総合優勝、男女総合2位と好成績を収め、兵庫県総体でも、男子400mMR・男子400mFR・女子200m自由形で近畿総体出場権を獲得しました。女子400mFRは県3位に入賞し、念願の全国総体出場を決めました。その他の競技では、卓球と剣道の男子個人戦において、各々一人ずつが市で5位に入賞し、県総体に出場しました。放送部は、県の放送コンテストの朗読部門において、最優秀賞と優秀賞に3人が入賞し、全国大会にエントリーされました。

II. 同窓会関係

①同窓会ホームページの立ち上げ

5月に念願の同窓会ホームページを立ち上げました。現在のページは内容的にまだまだ不十分ですが、今後徐々に充実させていきたい、と考えています。途中で息切れすることがないように皆様のご支援とご協力をお願い致します。

URLは<http://www.geocities.jp/utachudou/>ですので、折に触れ、ぜひご覧ください。

②母校諸行事への参加

母校創立60周年を機に、体育会、文化発表会に参加していますが、3年目の今年もプロジェクト委員会(6回生伊藤宏委員長 tel.078-707-8560)が中心となって参加の準備を進めております。体育会は9月19日(土)開催(申込期限9月11日)で昼の玉入れに参加します。また、文化発表会は10月24日(土)開催(申込期限9月30日)です。展示作品をこぞってお寄せ下さい(詳細はホームページご参照)。申込は上記事務局か伊藤委員長まで。

③同窓会は来年満60歳

現在の場所に“歌敷山中学校”が誕生したのは昭和24年のことで、翌25年5月に同窓会が発足しました。したがって、来年度同窓会設立60周年を迎えます。同窓会ではいろいろな記念事業を予定しておりますが、目玉企画は“吹奏楽部への楽器の贈呈”です。皆様方にはそのための基金(支援金)へのご協力をお願いすることになりますが、なにとぞよろしくお願い致します(詳細は別紙、またはホームページご参照)。 =以上=